

(様式1)

平成30年度 自己評価表 (1枚目)

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

教育方針	自律・進取・敬愛を重んじ、豊かな人間性と社会性を養うとともに、個性や能力を生かす教育の充実を目指し、平和な国際社会に貢献できる国際感覚豊かな人間を育成する。	重点目標	社会貢献できる人材の育成 — 感謝から自立と共生 — 1 基本的生活習慣の確立を通して、自律心を育みます。 2 体験活動の実施と部活動の充実により、豊かな人間性と社会性を育みます。 3 基礎・基本の定着を図るとともに、社会人基礎力を育みます。 4 能力・適性に応じたキャリア教育を推進し、生徒一人一人の進路希望を実現します。
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校経営	適切な教育課程の編成	生徒の適性・能力・進路に応じた教育課程を編成する。	A	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はAとなっている。	多様な生徒に対応するため適切な教育課程を研究・分析・検討し、取り組む。
		教育活動全体を通して、基礎・基本の定着を図るとともに、社会人基礎力の育成に努める。	B	教員の評価はB、生徒の評価はB、保護者の評価はAとなっている。	さらに地域人材を活用し、体験型学習の充実に努める。
	保護者・地域との連携	学校案内、分校通信、ホームページ、生徒会誌「み津ばち」などで教育活動の紹介発信に努める。	A	ホームページは毎日更新し、1日平均約450アクセスがあった。	新WEBサイトに移行し、さらに、中島分校の良さをアピールする。
		PTA活動(総会・研修旅行等)への積極的参加を呼び掛け、PTA活動の活性化に努める。	C	PTA・職員校内作業では、約25名の参加を得て、芝生の校庭の整備を行った	特にPTA総会の参加者増を図り、より参加しやすい工夫と情報発信を行う。
		地域での奉仕活動を年間8回以上実施する。	A	教員の評価はA、生徒の評価はA、保護者の評価はAとなっている。	今後とも、地域を愛し、地域を元気づけるとい意識を持って活動できるよう工夫する。
学習指導	教科指導の充実	個に応じた指導の工夫・実践により、生徒に分かる喜びと意欲を持たせる。	B	生徒の評価が、学年が上がるにしたがって、一部下がっている。	習熟度別学習と少人数学習が効果を発揮できるように、各教科で指導の改善と工夫を行う。
		全商検定において3級以上の取得率90%以上、特に、3年生は2級以上の取得率80%以上を目指す。	A	2年生は3級以上取得100%、3年生は2級以上取得100%となった。生徒も熱心に取り組んだ結果だと思える。	どの学年もさらに上位級を目指していきたい。生徒の個性や実力を見極めつつ、できる限り合格に導きたい。
	家庭学習の充実	学習に対する意欲と態度を育て、個に応じた課題により、家庭学習1日2時間以上を確保する。	B	家庭学習の平均時間は、1年1.7時間、2年1.9時間、3年2.2時間であった。	1年次から自ら学ぶ態度を育成する観点から、生徒に応じた課題の改善と工夫を行う。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	基本的な生活習慣の確立を通して、年間出席率95%以上を目指す。	B	各学年学年末の出席率は、1年89.2%、2年97.5%、3年98.5%であった。学年を追うごとに出席率も上がっているため、次年度に期待したい。	全体で96.1%であった。来年度はさらに基本的な生活習慣の確立を図り、生徒自身を高めてもらいたい。
		あいさつができる、身だしなみが守れる、清掃にまじめに取り組める生徒100%を目指す。	A	ほとんどの生徒が身だしなみを守っている。指導を受けてもすぐに改善が見られた。清掃に関しても熱心に取り組む姿が伺えている。	教職員の共通理解を深め、対象となる生徒に丁寧な指導を行う。
		生徒指導に関して、保護者に適切な情報発信を行い、家庭と学校の指導の連携を図る。	B	長期休業中などに心得を配り、家庭にも呼びかけを行っている。携帯電話などの使い方についても外部の協力を得て指導している。	保護者に対して必要な情報をホームページ等を通して発信する。

※ 評価は5段階 (A : 十分な成果があった B : かなりの成果があった C : 一応の成果があった D : あまり成果がなかった E : 成果がなかった) とする。

(様式 1)

## 平成30年度 自己評価表 (2枚目)

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
生徒指導	個人面接の充実	面接を学期ごとに一人2回以上(年間6回以上)行い、生徒の心情を把握し、生徒理解に努める。	B	担任による定期的な面談のほか、誰にでも相談ができるような体制である。	個に応じた生徒指導をしつつ、不公平感を持たせないようにする。
	交通安全指導の充実	生徒一人一人の交通安全への意識の高揚を図り、交通事故・違反ゼロを目指す。	B	ヘルメットの着用も良好であり、生徒も交通ルールを遵守している。	さらに、事故ゼロを目指し交通ルールの遵守とマナーの向上に努めたい。
	教育相談・特別支援教育の充実	教職員の連携と情報の共有を図り、特別なニーズを持つ生徒をはじめ多様な生徒一人一人を適切に支援する。	A	個別の指導計画や教育支援の計画を見直し、教員間で共通理解を持って指導することができた。	保護者や関係機関との連携を取りつつ、一人一人の現状を把握し改善と検討を行ないたい。
進路指導	進路指導委員会の充実	進路指導委員会を全学年、年3回以上実施し、早期に適切な進路指導を行う。	B	大学受験において希望大学や学部、進路目標が紆余曲折し、適切な受験計画を立てて導くことまでには至らなかった。	まずは学年団で進路指導の方針や計画を固め、一枚岩になって個別指導を強化する。
	進学・就職指導の充実	個に応じたきめ細やかな指導を徹底し、進学希望者の進学と就職希望者の就職100%を目指す。	B	100%目標を達成することができたが、進学希望者に対して、個々に応じた十分な指導とまではいかなかった。	簡単に諦めさせず、希望をもたせ、学習に前向きに打ち込める雰囲気と体制をつくる。
		進路指導に関して、担任による面接と、進路課による面接を充実させる。保護者に適切な情報発信を行い、家庭と学校の指導の連携を図る。	C	生徒の受験希望や計画が家庭内でなかなか一致せず、事前指導や受験準備が遅滞し、十分な進路指導とまではいかなかった。	1、2年次から様々な進路情報を提示しながら進学意識を高めさせ、早期対応の丁寧な進路相談を実施する。
特別活動	特別活動等の充実	部活動に主体的、積極的に取り組む生徒100%を目指す。	A	全員が部活動に所属し、限られた時間の中ではあるが、一生懸命に活動する姿が伺えた。	生徒の肉体的な成長だけでなく、精神的な成長につながるような部活動を行う。
		学校行事、生徒会活動、部活動等を通して心身を鍛え、よりよい人間関係づくりを行う。	A	昨年度に比べ、様々な学校行事を行い、生徒も積極的に活動していた。	現在ある学校行事を見直し、改善できるものに新たなものを取り入れていきたい。
人権・同和教育	人権・同和教育の充実	人権・同和教育ホームルーム活動を充実させる。	A	教材作りを工夫し、生徒が今後どう行動するかをより考えられるようになった。	人権教育課の資料などを活用して、差別解消に向けて行動できる生徒を育てる。
		人権委員会活動、講演会、人権標語、人権ポスター等により、人権意識を高める。	A	毎月発行の人権だよりで生徒・保護者へ啓発するとともに、他校の人権委員との交流も行った。	保護者への啓発や、フィールドワークに積極的に取り組む。
保健・安全管理	校内美化・環境整備の推進	適切な清掃配置を行い、巡視指導等により生徒一人一人の意識を高め、環境美化を図る。	B	少人数での清掃になるため行き届かないところもあるが、時間いっぱい取り組むことができています。	巡視指導と作業成果の評価を行い生徒の環境美化に対する意識の高揚を図る。
		生徒と教職員による芝生・校内作業を毎月実施する。	A	毎月の芝生・校内作業及び、PTA・職員校内作業等により、芝生や校庭の管理ができた。	季節や天候を考慮しながら効率よく実施する。
	健康管理の充実	実践力につながる保健だよりを発行し、健康管理の徹底を図る。	B	保健・厚生委員会の担当者が中心となり、季節に応じた内容の保健だよりの発行に努めた。	生徒や保護者に対し、必要な情報をタイムリーに発信するように努める。
	危機管理、安全管理の充実	学校安全に関する研修と点検、防災避難訓練の実施により、安全管理能力の育成に努める。	A	西日本豪雨災害での被害が身近で起こり、防災避難訓練等で、いつも以上に真剣に取り組む姿が見られた。	今後更に危機感を持って、様々な工夫をし、訓練や研修に努めていきたい。

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。